

2007.05.07

Srt036

### 手、腕、胸筋のパチとブラシ法

レポート 34 では左ひざ内側が右腕、指、皮膚であるケースでした。



次の日がこのレポートです。

イスでタッチしたり、押ししたりしながら今日の状態を観察すると、肘の周囲に反応が多そうでした。

久しぶりにブラシを使います。100 円グッズです。

右手、前腕はチクチクしますが、左手はしませんでした。その後の展開でも右腕の操作になりました。こまかく質問しながらです。

次は上腕パチ法です。絵をクリックしてください。



上腕は肘のあたりから次第に上がっていきます。意図もありますが、実際の患者さんの反応、体感、私の体感とポー音の組合せで移っていつているのです。

予想外に側肋、つぎにはそけい、下腹にピーと割れ目が出てきました。

パチ胸筋広脊筋、ここもパチという音でないとほぐれない要素があります。パチのあと、キュッと絞って引くのです。ほぐれ音をたしかめる、あるいは受け手の体感をたずねます。張力の発生するポーズであることに注目してください。前のビデオで、胸筋付着部がほぐれたので、このステップがよく効くようになりました。